Panasonic

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BWT2100
DMR-BWT1100

準備編

はじめに
接続
設定
その他の設定

はじめにお読みください。

本書はブルーレイディスクレコーダーをお楽しみいただくために、必要な接続や設定について説明しています。
録画や再生などの操作説明については、別冊の取扱説明書 操作編やかんたん操作ガイドをお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書（準備編・操作編）」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（操作編 168～171ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT2W35-2

もくじ

接続

接続1 テレビやアンテナと接続する....4

接続2 アンプと接続する.................... 12

接続3 ビデオと接続する.................... 14

接続4 ネットワーク接続をする........ 15

必要な場合に接続してください。

・アクトビラ

・スカパー! HD 録画

・DLNA 対応機器　　など

接続5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する.................... 19

接続6 電源コードを接続する 最後に接続！ 20

設定

初めて電源を入れたときに、以下の設定を行ってください。

基本の操作... 21

設定1 かんたん設置設定をする........ 22

設定2 かんたんネットワーク設定をする.. 24

- 有線で接続する場合...................... 24
- 無線で接続する場合 DMR-BWT2100 ... 26

● かんたん設定終了後に..........................29

設定1 設定2 終了後、必要な場合に行ってください。

- 接続した端子に合わせて設定する.......30
- テレビ画面の横縦比を変更する...........33
- アンテナレベルを確認する..................34
- 受信チャンネルを修正する...................36
- 地域設定を修正する..............................39
- リモコン設定をする..............................40
- B-CAS カードのテストをする.............42
- 時刻を合わせる.....................................42
- ネットワーク連携する機器の設定をする...43

● 付属品を確認する...........................裏表紙

本書内の表現について

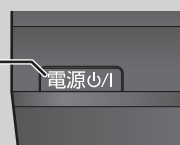
- 本書内で参照していただくページを(➜ ○○)、別冊の取扱説明書 操作編で参照していただくページを(➜ 操作編○○)で示しています。
- この説明書における本体および画面イラストは DMR-BWT2100 のものです。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

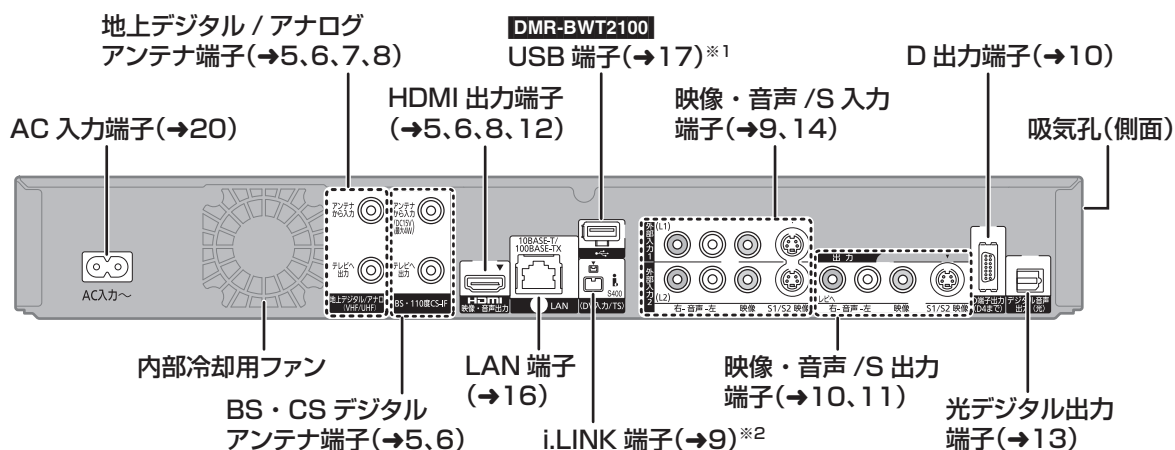
[電源⏻/I]を3秒以上押す

電源⏻/I

本機の電源が切れます。

故障かな !? と思った場合 ➜ **操作編 152**

接続の前に

●各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
（本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください）
●各機器の説明書もご覧ください。

本体背面

※1　USB 端子は、両機種の本体前面にあります。
※2　i.LINK 端子は、DMR-BWT2100 の本体前面にもあります。

本機の設置について

●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期
●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

接続1 テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

- 地上アナログ放送の番組表をご利用になる場合でも、BS デジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。
- すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

つなぎ方ナビゲーション

接続方法を分かりやすく説明しています。

接続するご家庭のアンテナ端子に合わせて接続を行ってください。

アンテナ端子が別々の場合

VHF/UHF 端子　BS/CS 端子

アンテナ端子がひとつの場合

VHF/UHF・BS/CS 混合の端子

CATV をご利用の場合

ケーブルテレビの端子

上記の接続では、テレビと本機の接続は、HDMI ケーブル(別売)を使用した接続を紹介しています。
HDMI ケーブルで接続すると、高画質·高音質の映像と音声で楽しむことができます。
さらに、ビエラリンク(HDMI)機能(➜ **操作編 115**)に対応した当社製テレビ(ビエラ)と接続すると、連動操作が可能になります。

3D 映像を楽しむには…
3D 対応テレビとの接続は
HDMI 端子を使用してください

HDMI 端子 以外でテレビと接続する場合は **10** ページ

お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをおすすめします。F型接栓は、緩まない程度に手で締めつけてください。締めつけすぎると、本機内部が破損する恐れがあります。
- 分配器を使って本機とテレビに BS·110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ (➜ **表紙**)のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

  当社製 HDMI ケーブル

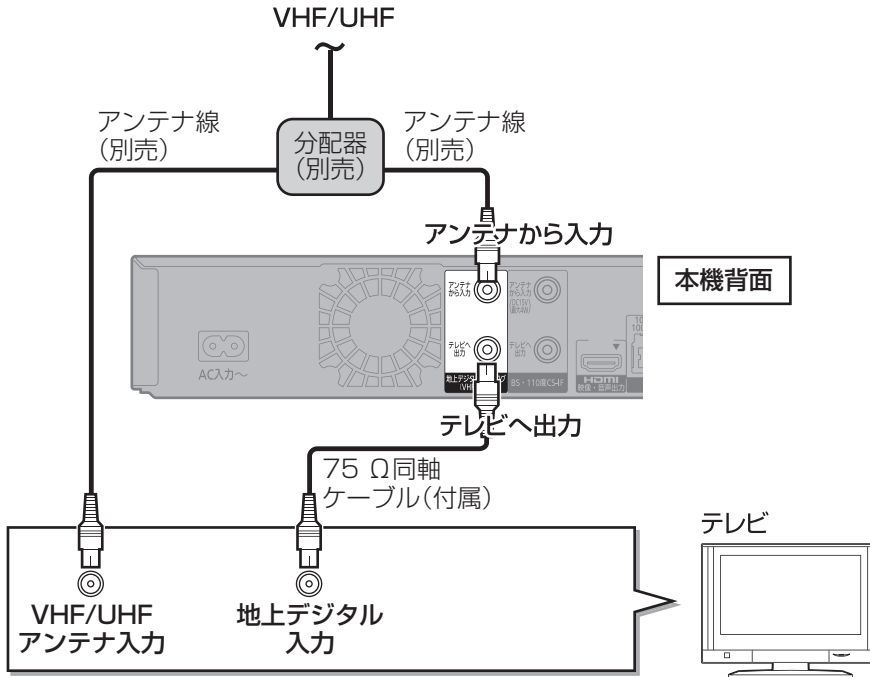
  品番 : RP-CDHS10(1.0 m)、RP-CDHS15(1.5 m)、
  RP-CDHS20(2.0 m)、RP-CDHS30(3.0 m) など
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

アンテナ端子が別々の場合

HDMI 端子以外で
接続する場合は
10 ページ

B アンテナ端子がひとつの場合

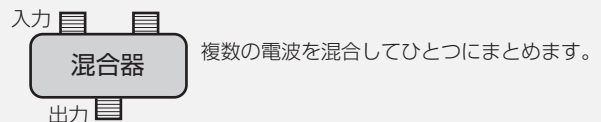
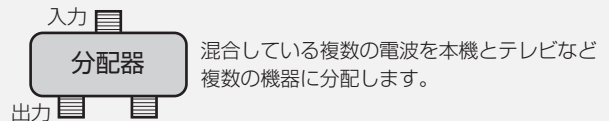
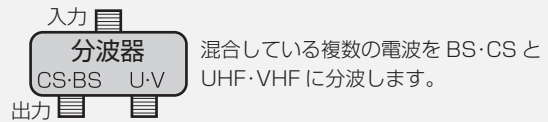
テレビの地上デジタルと地上アナログのアンテナ入力端子が別々の場合

VHF/UHFのアンテナ線を以下のように接続すると、テレビで地上アナログ放送を受信することができます。
地上アナログ放送を受信しない場合は、以下の接続は不要です。

お知らせ

- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。
  接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

混合している複数の電波を BS·CS と UHF·VHF に分波します。

混合している複数の電波を本機とテレビなど複数の機器に分配します。

複数の電波を混合してひとつにまとめます。

CATV(ケーブルテレビ)を利用している場合

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATVの地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式※の場合の接続を紹介しています。

※ CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。

ケーブルテレビ端子

ケーブル入力

セットトップボックス

分配器(別売)

アンテナ線(別売)

アンテナ線(別売)

本機背面

アンテナから入力

HDMI映像・音声出力

テレビへ出力

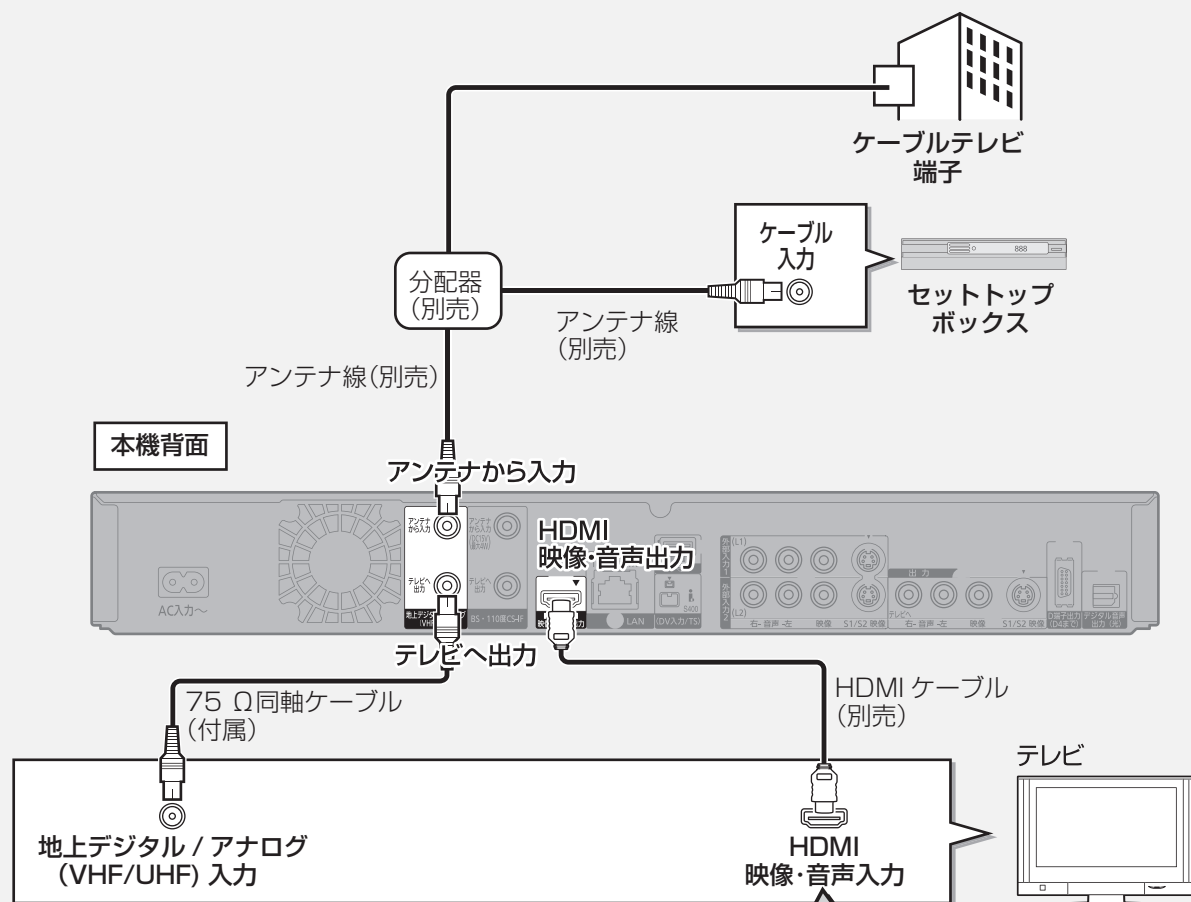
75 Ω同軸ケーブル(付属)

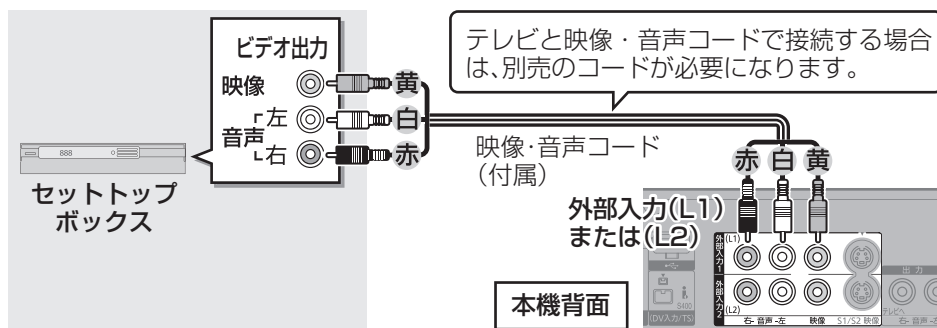
HDMIケーブル(別売)

テレビ

地上デジタル/アナログ(VHF/UHF)入力

HDMI映像・音声入力

HDMI端子以外で接続する場合は 10ページ

- **BS・CSデジタル放送を録画するには**
  BS・CSデジタル放送を録画できる衛星アンテナをBS・110度CS-IF入力端子に接続するか、9ページの接続を行ってください。

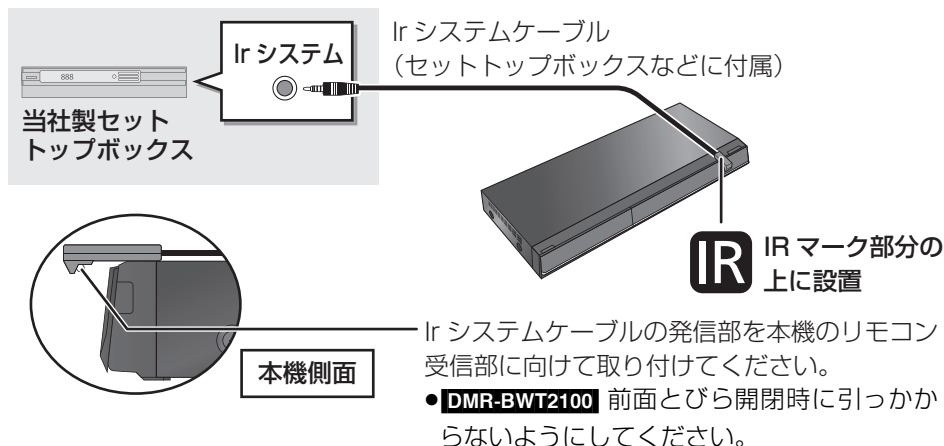
パススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を録画するためには、下記の接続が必要です。

映像・音声コードで接続する

CATV から連動して予約録画するために

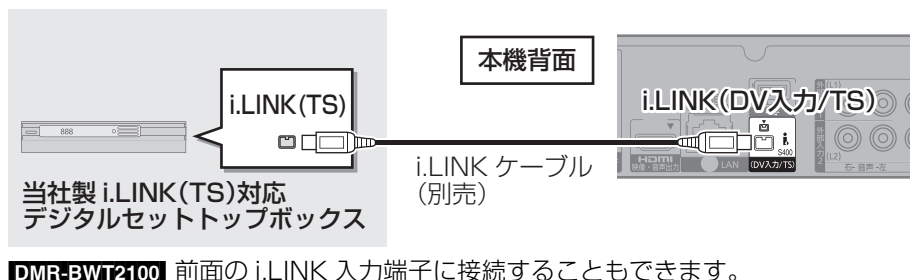
上記接続に加えて、Ir システムの接続をすると、CATV から予約録画の信号を本機のリモコン受信部に送り、連動操作することができます。（CATVのIrシステムがブルーレイディスクレコーダーに対応していない場合、予約録画できません）

Ir システムケーブルの設置例

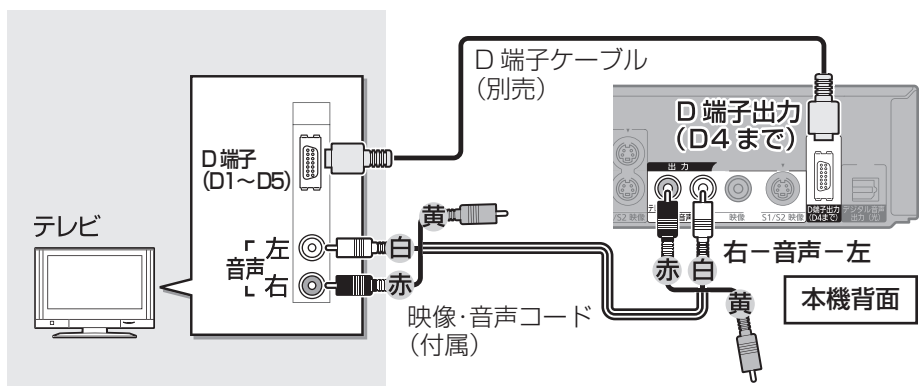
Ir システムケーブルの発信部を本機のリモコン受信部に向けて取り付けてください。

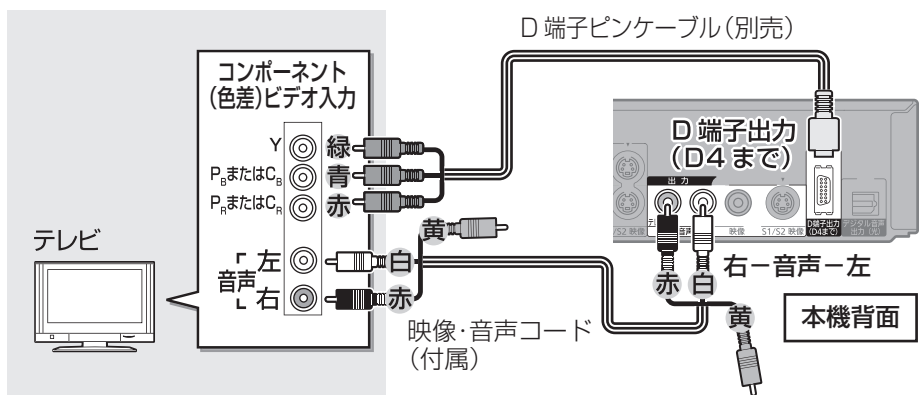
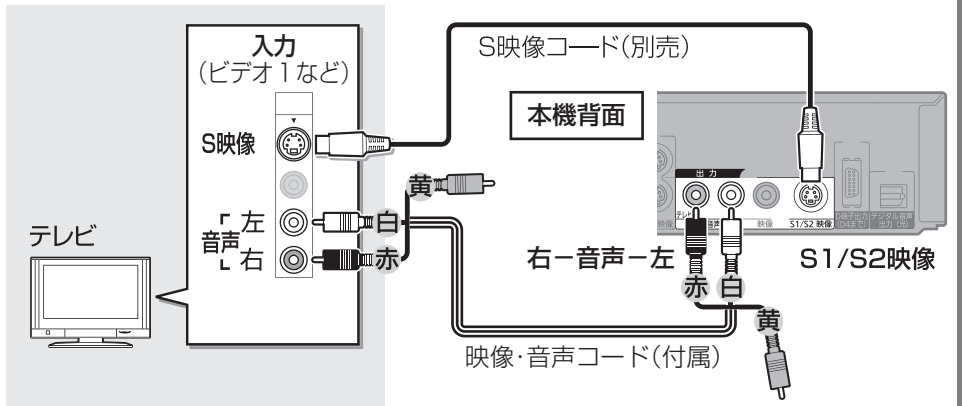
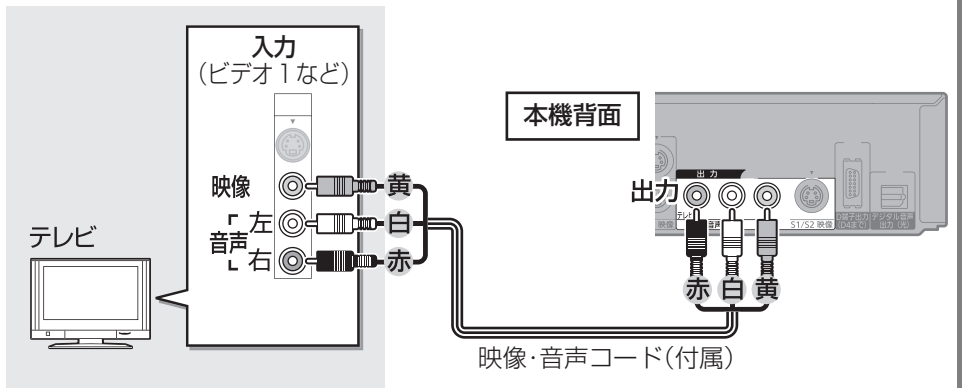
- DMR-BWT2100 前面とびら開閉時に引っかからないようにしてください。

i.LINKケーブルで接続する

- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。
- セットトップボックスが i.LINK 対応していない場合、予約録画できません。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

DMR-BWT2100 前面の i.LINK 入力端子に接続することもできます。

テレビやアンテナと接続する(つづき)

HDMI 端子以外でテレビと接続する

以下の端子を持つテレビに対応しています。

D 端子と接続する	テレビ D端子(D1～D5) 音声 左 右 黄 白 赤 D 端子ケーブル(別売) D 端子出力(D4 まで) 右－音声－左 赤 白 黄 本機背面 映像･音声コード(付属)
コンポーネント(色差)端子と接続する	入力端子の表示が図と異なるとき(Y/B-Y/R-Y など)は、同じ色の端子どうしを接続してください。 テレビ コンポーネント(色差)ビデオ入力 Y 緑 P_BまたはC_B 青 P_RまたはC_R 赤 音声 左 右 黄 白 赤 D 端子ピンケーブル(別売) D 端子出力(D4 まで) 右－音声－左 赤 白 黄 本機背面 映像･音声コード(付属)

S 端子と
接続する
テレビ
入力
（ビデオ 1 など）
S映像
左
音声
右
白
赤
黄
S映像コード（別売）
本機背面
出力
右－音声－左
赤
白
黄
S1/S2映像
映像・音声コード（付属）
映像端子と
接続する
テレビ
入力
（ビデオ 1 など）
映像
左
音声
右
黄
白
赤
本機背面
出力
赤
白
黄
映像・音声コード（付属）

接続2 アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

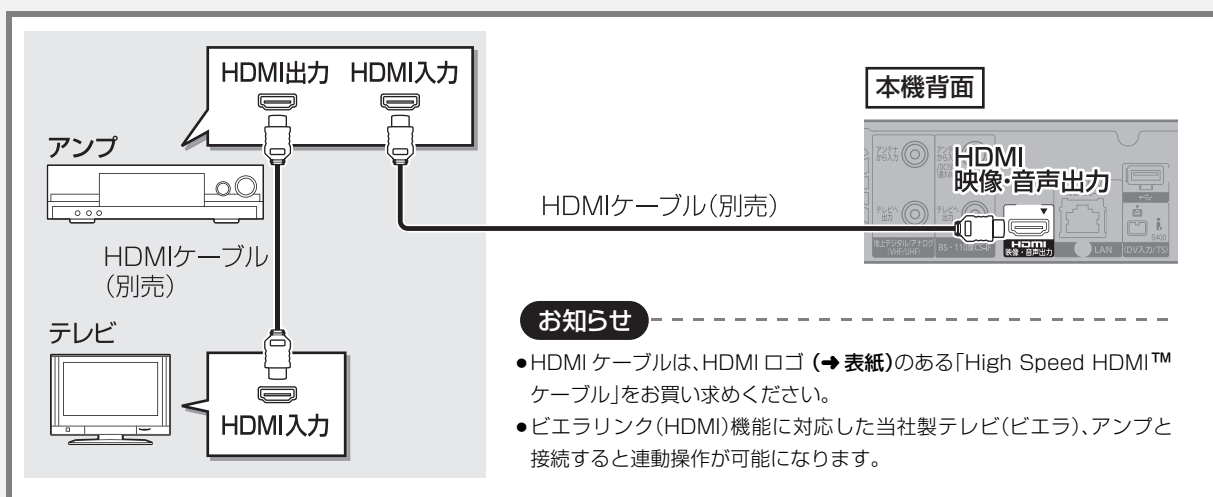
☞ デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➜ 操作編 140)

3D 映像を視聴するとき

3D 対応アンプと接続する場合

接続するテレビが 3D 対応の場合、以下の接続で 3D 映像を楽しむことができます。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ (➜ 表紙)のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。
- ビエラリンク(HDMI)機能に対応した当社製テレビ(ビエラ)、アンプと接続すると連動操作が可能になります。

3D 非対応アンプと接続する場合

接続するテレビが 3D 対応の場合、以下の接続で 3D 映像を楽しむことができます。

デジタル音声端子に接続する

お知らせ

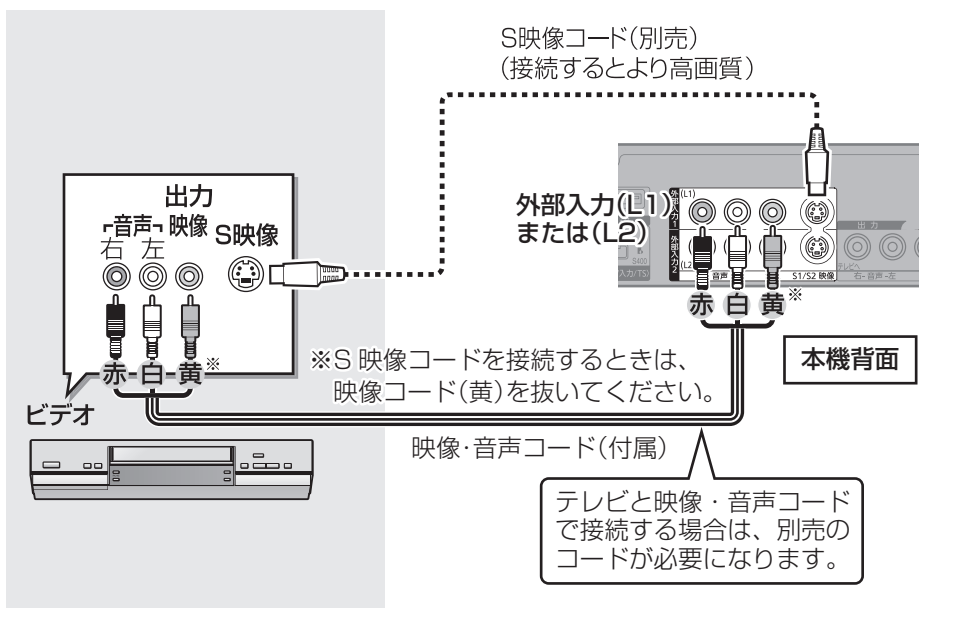
- 本機の HDMI 端子とテレビ、アンプとテレビをそれぞれ HDMI ケーブルで接続する方法もあります。
  - ・ただし、音声は最大で 5.1ch になります。
  - ・ARC 非対応アンプの場合は、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

3D 映像を視聴しないとき

接続するテレビが 3D 非対応の場合、3D 映像を見ることはできません。その場合は、接続するアンプが 3D に対応または非対応にかかわらず「3D 映像を視聴するとき」(➜12、13)のいずれかの接続をしてください。

接続3 ビデオと接続する

●本機とテレビの間に、他のビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。

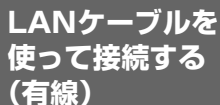
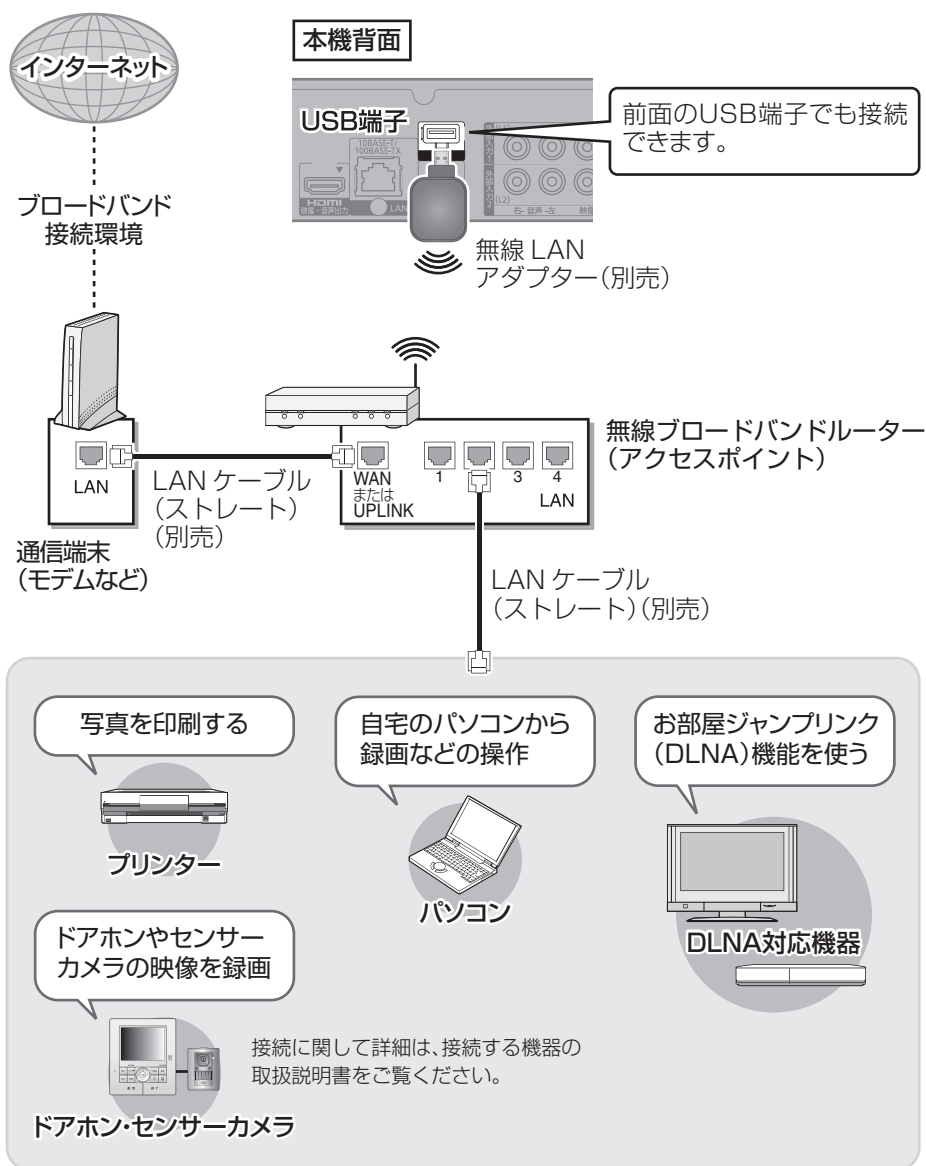
ビデオと接続する

接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続・設定すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

テレビでインターネットを楽しむ	インターネットを利用してアクトビラのサービスなどを楽しむことができます。 **(➜ 操作編 110 ～ 113)** ●アクトビラについて詳しくは下記ホームページをご覧ください。 **http://actvila.jp/**
1ヵ月の番組表を受信する	インターネットを通して、1ヵ月の番組表や注目番組を受信できるようになります。（1ヵ月の番組表や注目番組を受信できるのは、番組情報を提供している放送局に限ります。2010 年 6 月現在、WOWOW のみ対応）
BD-Live 対応のディスクを楽しむ	インターネットを使って、特典映像の再生など様々な機能を楽しむことができます。 **(➜ 操作編 57)**
デジタル放送の情報サービスの利用	デジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。
外出先から録画予約	外出先から携帯電話やパソコンで自宅にある本機を操作(ブロードバンドレシーバー機能)して録画予約などができます。 ●ブロードバンドレシーバー設定**(➜45)**が必要です。 ●対応サービスへの加入が必要です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。 **パナソニック株式会社　ディモーラ** **http://dimora.jp/**　(2010 年 6 月現在、会員登録は PC からのみ) **株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド** **PC の場合　http://ipg.jp/ra** **携帯電話の場合　http://ipg.jp/k**
自宅のパソコンから録画などの操作	家庭内ネットワークに接続されているパソコンなどから本機を操作して録画予約などができます。**(➜ 操作編 114)** ●ブロードバンドレシーバー設定**(➜45)**が必要です。
スカパー! HD 録画	スカパー! HD 対応のチューナーからハイビジョン番組をそのままの画質で録画できます。**(➜ 操作編 88)** ●お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定**(➜43)**が必要です。
お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能を使う	DLNA 対応機器から本機の HDD にある番組などを再生することができます。また、本機から DLNA 対応機器の HDD にある番組などを再生することができます。 **(➜ 操作編 118 ～ 120)** ●お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定**(➜43)**が必要です。 ●当社製 DLNA 対応機器の最新情報については、当社ホームページ**(diga.jp)**をご覧ください。
CD タイトルを自動で取得	インターネットから音楽 CD のタイトルやアーティスト情報などを自動的に取得できます。**(➜ 操作編 95)**
写真を印刷する	本機で再生できる写真をプリンターで印刷できます。**(➜ 操作編 94)** ●ネットワークプリンターの接続設定**(➜44)**が必要です。
ドアホンやセンサーカメラの映像を録画	ドアホンやセンサーカメラからの映像を録画できます。**(➜ 操作編 108)** ●ドアホン・センサーカメラの接続設定**(➜46)**が必要です。

お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をおすすめします。
- カテゴリー5(CAT5)以上の LAN ケーブルのご使用をおすすめします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター(アクセスポイント)に接続してください。
- 本機と各機器をLANケーブルで直接接続することもできます。(LANケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません)

LANケーブルを使って接続する（有線）

無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）を使って接続する（無線）

DMR-BWT2100

接続に関して詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- DMR-BWT1100 無線 LAN アダプター（別売）を使って接続することはできません。
- 当社製無線LANアダプター DY-WL10（別売）以外は使用できません。DY-WL10（別売）の取扱説明書もよくお読みください。
- スペースの都合などにより、本機背面に無線LANアダプター DY-WL10（別売）を接続するのが困難な場合は、無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って接続してください。
- 無線 LAN アダプター（別売）を使って LAN 接続する場合は、LAN ケーブル（有線）では使用できません。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/bd/
- スカパー! HD 対応チューナーは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使っての接続をおすすめします。（➜16）

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。
  無線接続の場合、802.11n(2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可)対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。必要な情報については下記サポート情報ホームページをご覧ください。

本機を操作できるパソコン (2010 年 6 月現在)

OS:
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/
Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate
www ブラウザ:
Internet Explorer® 6.0 以上

動作確認済みのパソコンや携帯電話などの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
(携帯電話からはご利用いただけません)
http://panasonic.jp/support/bd/

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ・第三者が本機の設置·設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し(➜45)、再設定してください。
  - ・第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク(SSID※)が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。(➜15)

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器(ADSLモデム、ルーターやハブなど)や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約·設置·接続·設定作業·通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- ブロードバンドレシーバー機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更·中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID·機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管·管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定·使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

接続5 B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード(付属)の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

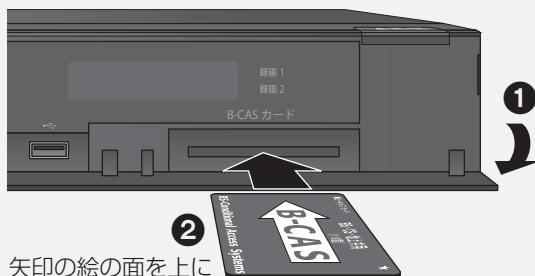
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってあるシートの説明をご覧ください。

- B-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ(➜ **操作編 172**)などに控えておいてください。
- 本機でも番号を確認できます。(➜ **操作編 128**)

お問い合わせは(紛失時など)

(株) ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL:0570-000-250

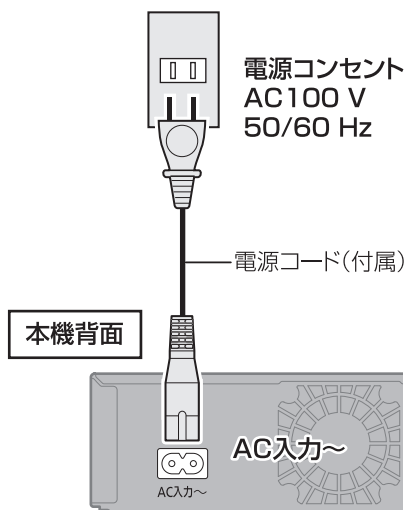
挿入/取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、B-CAS カードを奥まで差し込む

お知らせ

- カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、引き抜いてください。
- B-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

接続

接続6 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをおすすめします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。**(電源「切」時の消費電力 ➜ 操作編 156)**

- 電源コードを抜いている場合:
  - ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得(➜**42**)はできません。
  - ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

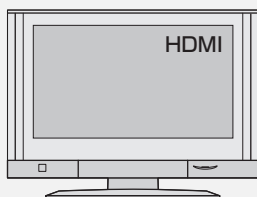
基本の操作

基本操作 選び ➡ 決定する

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

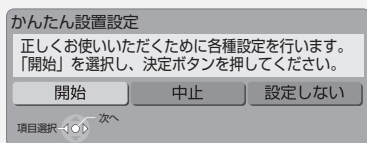
2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

●本機を接続した入力に切り換えてください。
（HDMI、ビデオ 1 など）

3 本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓

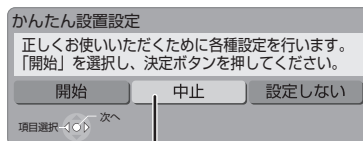
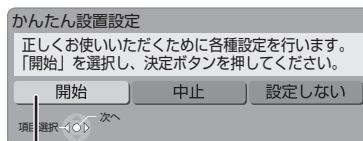
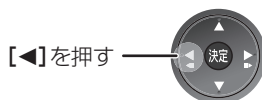
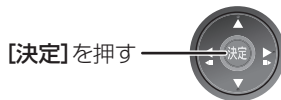
または

チャンネル表示

●テレビに映像が映っているか確認してください。
●お買い上げ時には、下記の画面が表示されます。
（➜22 手順 2 へ）

かんたん設置設定画面が表示されない場合は、本機の電源を一度、切 / 入してください。

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押すことで操作を行います。

例えば、かんたん設置設定を開始する場合

黄色になっている項目が、
現在選ばれている項目

黄色になります。

「開始」の操作が実行されます。

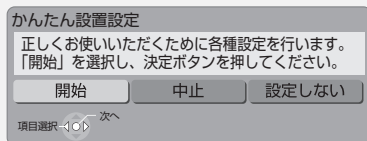
本書では、上記のような操作をする場合、
「開始」を選び、決定を押す
と記載しています。

接続
設定

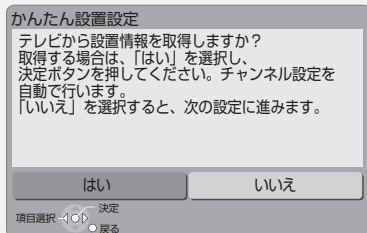
設定1 かんたん設置設定をする

はじめて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。
設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

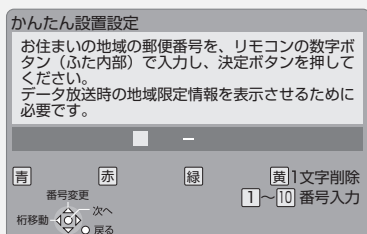
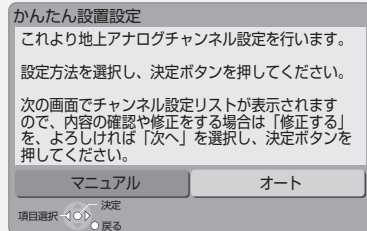
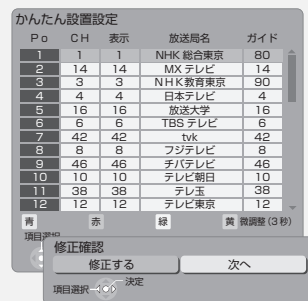
1 リモコンの **電源 を押して、電源を入れる**

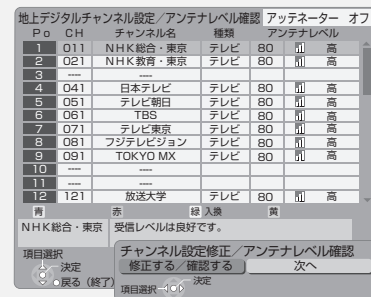
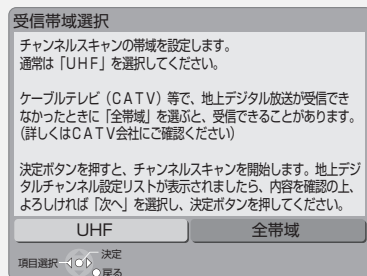
2 「開始」を選び、決定を押す

上記画面が表示されない場合は、お知らせ(➜23)をご覧ください。

画面の指示に従って設定を行ってください。

●ビエラリンク(HDMI)Ver.2以降に対応した当社製テレビとHDMIケーブルで接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。

設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。

地上アナログ放送チャンネルの設定

通常は「オート」で設定してください。

ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する」を選んでください。(➜37「マニュアル」)

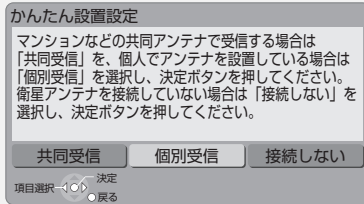
地上デジタル放送チャンネルの設定

ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する／確認する」を選んでください。(➜36「マニュアル」)

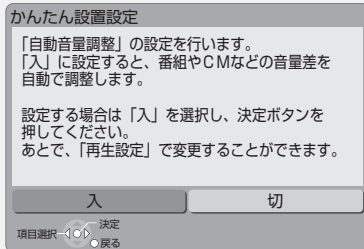
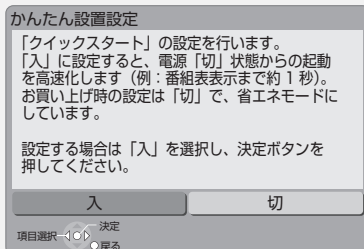
衛星アンテナ設定

かんたん設置設定

マンションなどの共同アンテナで受信する場合は「共同受信」を、個人でアンテナを設置している場合は「個別受信」を選択し、決定ボタンを押してください。
衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

共同受信 個別受信 接続しない

項目選択 決定 戻る

「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入(オン)」にする設定をしてください。

自動音量調整の設定

クイックスタートの設定

「ビエラリンク録画待機」の設定画面が表示された場合、「入」を選んでください。

クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

例: 番組表を約 1 秒で表示します。(映像端子または S 端子接続時)

●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

●待機時消費電力が増えます。

●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前４時ごろ(1 週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、**[電源]**以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。)

●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。

かんたん設置設定終了後、引き続き「かんたんネットワーク設定」(**➜24**)を行うことができます。

●スカパー! HD 録画をするには、「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」(**➜43**)を行ってください。

かんたん設置設定をやり直す

引っ越しをした場合や、設置後テレビ受信ができない場合など、以下の手順でかんたん設置設定をやり直すことができます。

❶ **を押す**

❷「その他の機能へ」を選び、決定を押す

❸「放送設定」を選び、決定を押す

❹「かんたん設置設定」を選び、決定を押す

お知らせ

●デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、時刻合わせを行ってください。(**➜42**)

●テレビに映像が映らない場合は
- ･テレビの入力を確認してください。(**➜21「本機の映像をテレビに映す」**)
- ･接続を確認してください。(**➜4 ～ 20**)
- ･テレビの HDMI 端子または D1 か D2 映像入力端子に接続している場合は、以下の操作を行うと映像が映ります。

① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に5秒以上押す
･本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで、**[▶]**を数回押す

③ **[決定]**を 3 秒以上押す

設定を中止するには
[戻る]を押す

設定

設定2 かんたんネットワーク設定をする

有線で接続する場合

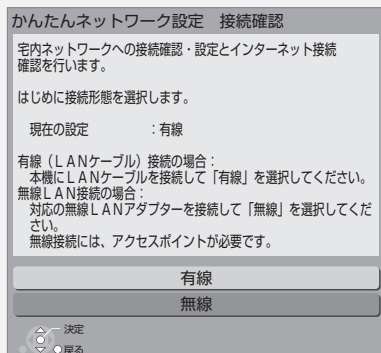
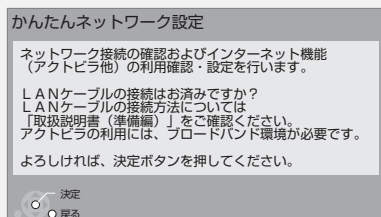
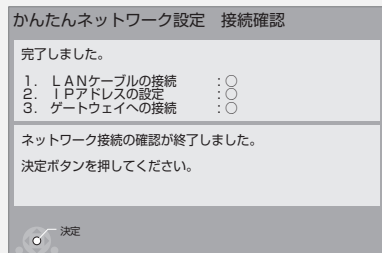
「かんたん設置設定」(➜22 ～ 23)のあと

DMR-BWT2100 の場合

「有線」を選び、決定 を押す

DMR-BWT1100 の場合

を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

接続確認

「○」以外の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ゲートウェイへの接続：×	LAN ケーブルの接続 (➜16)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ゲートウェイへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜ 操作編 138)
LAN ケーブルの接続：○ IPアドレスの設定：宅内使用可 ゲートウェイへの接続：×	ハブやルーターの接続と設定
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ゲートウェイへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜ 操作編 138)

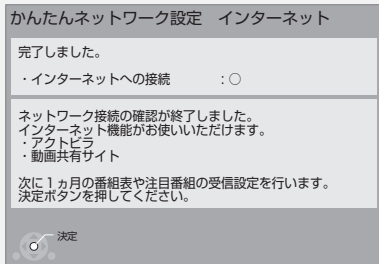
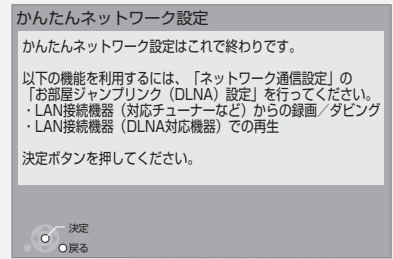
インターネット機能の利用確認・設定

かんたんネットワーク設定　インターネット

完了しました。
・インターネットへの接続　:○

ネットワーク接続の確認が終了しました。
インターネット機能がお使いいただけます。
・アクトビラ
・動画共有サイト

次に1ヵ月の番組表や注目番組の受信設定を行います。
決定ボタンを押してください。

決定

「○」以外の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(➜ **操作編 139**)やルーターなどの設定
サーバーが見つかりません。(B019)	●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定(➜ **操作編 138**) ●ルーターなどの設定

1ヵ月の番組表の受信設定

- 1ヵ月の番組表や注目番組を受信できるのは、番組情報を提供している放送局に限ります。
  (2010年6月現在、WOWOWのみ)
- 1ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

かんたんネットワーク設定の終了

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定はこれで終わりです。

以下の機能を利用するには、「ネットワーク通信設定」の「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」を行ってください。
・LAN接続機器(対応チューナーなど)からの録画／ダビング
・LAN接続機器(DLNA対応機器)での再生

決定ボタンを押してください。

決定
戻る

上記画面が表示されると、かんたんネットワーク設定は終了です。

設定

かんたんネットワーク設定をやり直す

以下の手順でかんたんネットワーク設定をやり直すことができます。

❶ **を押す**

❷ **「その他の機能へ」を選び、決定を押す**

❸ **「初期設定」を選び、決定を押す**

❹ **「かんたんネットワーク設定」を選び、決定を押す**

お知らせ

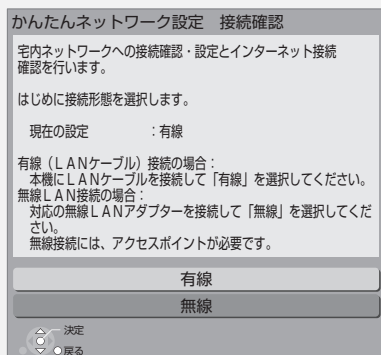
- かんたんネットワーク設定をやり直すと、スカパー! HD の登録済みの予約は、正しく実行されなくなる場合があります。設定前に、登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- 本機と各機器をLANケーブルで直接接続する場合、かんたんネットワーク設定は不要です。

設定2 かんたんネットワーク設定をする(つづき)

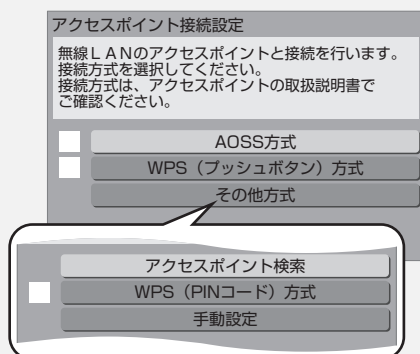
無線で接続する場合 DMR-BWT2100

●無線接続するには、当社製無線 LAN アダプター DY-WL10(別売)が必要です。(➜17)

「かんたん設置設定」(➜22 ～ 23)のあと

「無線」を選び、決定を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

「無線 LAN アダプターが接続されていません」と表示が出る場合、無線LANアダプターが奥までしっかり挿入されているかの確認、または抜き差ししてください。それでも表示が変わらない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

接続方式の選択

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)がAOSS™ や WPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応している場合は、「AOSS方式」または「WPS(プッシュボタン)方式」を選ぶと、かんたんに設定することができます。
対応していない場合は「その他方式」を選び、「アクセスポイント検索」または「手動設定」で設定してください。

●AOSS™、WPS とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定をかんたんに行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

アクセスポイント接続確認

アクセスポイント接続設定

アクセスポイントへの接続が完了しました。

ＳＳＩＤ : AccessPoint1
無線方式 : 802.11n(5GHz/40MHz)
認証方式 : WPA2-PSK
暗号化方式 : AES
電波状態 :

次に、ネットワーク接続の確認を行います。
決定ボタンを押してください。

決定

アクセスポイントへの接続に失敗した場合

<table>
<tr><th>表示</th><th>ここを確認してください</th></tr>
<tr><td>他の機器との競合が発生しました。</td><td>●しばらく待ってから、再度実行してください。</td></tr>
<tr><td>タイムアウトエラーが発生しました。</td><td rowspan="2">●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側のMACアドレスなどの設定
●電波が弱いことが考えられます。無線 LAN アダプターに付属の USB 延長ケーブルを使って、無線 LAN アダプターの位置を調節してください。
●アクセスポイント接続設定の SSID や暗号化キー
●しばらく待ってから、再度実行してください。</td></tr>
<tr><td>認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。</td></tr>
<tr><td>デバイスエラーが発生しました。</td><td>●無線LANアダプターの接続を確認してください。再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>アクセスポイントに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。</td><td>●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。</td></tr>
</table>

接続確認

かんたんネットワーク設定　接続確認

完了しました。

1．アクセスポイントへの接続 ：○
2．ＩＰアドレスの設定 ：○
3．ゲートウェイへの接続 ：○

ネットワーク接続の確認が終了しました。

決定ボタンを押してください。

決定

「○」以外の表示が出た場合

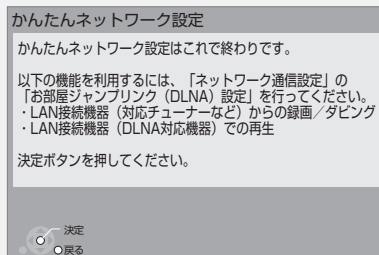
表示	ここを確認してください
アクセスポイントへの接続：○ IP アドレスの設定：× ゲートウェイへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 （➜ 操作編 138）
アクセスポイントへの接続：○ IPアドレスの設定：宅内使用可 ゲートウェイへの接続：×	無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定
アクセスポイントへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ゲートウェイへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 （➜ 操作編 138）

インターネット機能の利用確認・設定

（➜25）

1ヵ月の番組表の受信設定

（➜25）

設定

かんたんネットワーク設定の終了

上記画面が表示されると、かんたんネットワーク設定は終了です。

☞ かんたんネットワーク設定をやり直すには(➜25)

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。5 GHz をお使いください。
- アクセスポイント接続設定(**➜27**)の画面で「電波状態」のインジケーターが４つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信のとぎれなどが発生する場合は、無線LANアダプターや無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定(**➜24**)を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能(**➜43**)をご利用になるには、802.11n(5 GHz)をお使いの上、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

かんたん設定終了後に

「かんたん設置設定」「かんたんネットワーク設定」を行ったあと、以下の場合は、指定の設定を行ってください。

症状	場合	設定
映像が粗い	テレビとD端子で接続し、アンプなどとHDMI端子で接続している場合	「HDMI映像優先モード」を「切」に設定（➜30）
	接続したテレビのD端子が「D4」の場合	「D端子出力解像度」を設定（➜31）
音声が出ない	テレビとHDMI端子で接続し、アンプなどとデジタル音声端子で接続している場合	「HDMI音声出力」を「切」に設定（➜30）
テレビ画面の左右に黒帯が表示される	接続しているテレビが4:3標準テレビの場合や、左右の黒帯をなくして表示したい場合	「TVアスペクト」を設定（➜33）
放送が受信できない	ふだん見ている番組が見られない場合	「チャンネル設定」を修正（➜36～38）
放送の映りが悪い	アンテナの入力レベルが正常か確認する場合	「受信設定」を確認（➜34）
	電波が強すぎて映像が不安定になる場合	「アッテネーター」を「オン」に設定（➜34）
リモコンを使うと他機器が同時に動作する	複数の当社製機器を使う場合	「リモコンモード」を設定（➜40）

接続した端子に合わせて設定する

1 [スタート] を押す

2 「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 「初期設定」を選び、[決定]を押す

HDMI 映像優先モード

テレビと D 端子で接続し、HDMI 端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

上記手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、[決定]を押す

5 「HDMI 接続」を選び、[決定]を押す

6 「HDMI 映像優先モード」を選び、[決定]を押す

7 「入」または「切」を選び、[決定]を押す

HDMI 音声出力

テレビと HDMI 端子で接続し、デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

左記手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、[決定]を押す

5 「HDMI 接続」を選び、[決定]を押す

6 「HDMI 音声出力」を選び、[決定]を押す

7 「入」または「切」を選び、[決定]を押す

D 端子出力解像度

テレビとD端子またはコンポーネント端子で接続しているときに設定してください。

30 ページ手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定を押す

5 「D 端子出力解像度」を選び、決定を押す

6 テレビの端子に合わせて項目を選び、決定を押す

●テレビの端子に記載されている数字に合わせてください。

7 「はい」を選び、決定を押す

8 「はい」を選び、決定を押す

●「HDMI 映像優先モード」を「入」にして HDMI 端子からも映像を出力している場合は、設定にかかわらず 480i で出力します。

●「D3」、「D4」に設定したときの DVD ビデオの映像または外部入力、DV 入力からの映像について

・はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりしますが、故障ではありません。

・480p で出力します。
（HDMI端子と接続していないとき、または、「HDMI 映像優先モード」が「切」に設定されているとき）

コンポーネント(色差)端子と接続時の推奨設定

テレビのコンポーネント（色差）端子が対応している信号方式	推奨設定
480i	D1
480i 、480p	D2
480i 、480p 、1080i	D3
480i 、480p 、1080i 、720p 、1080p	D4

その他の設定

D 端子映像出力

D 端子からの映像の出力方法を設定します。

30 ページ手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定を押す

5 「D 端子映像出力」を選び、決定を押す

6 「入」または「オート」を選び、決定を押す

入　　:「オート」に設定していて D 端子接続時に映像が出力されない場合、「入」にしてください。

オート :D 端子に接続しているときのみ映像を出力するので、消費電力の節電になります。

手順 6 で「オート」を選んだ場合

7 「はい」を選び、決定を押す

8 「はい」を選び、決定を押す

ワイドモード

●S 端子でワイドテレビに接続しているときに設定

テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を働かせるための設定です。

30 ページ手順 1 ～ 3 のあと

4 「設置」を選び、決定を押す

5 「ワイドモード」を選ぶ

6 テレビの端子に合わせて項目を選ぶ

S1　　:テレビのS映像入力端子が「S1」のとき

S1/S2 :テレビのS映像入力端子が「S1」または「S2」のとき

切　　:テレビの S 映像入力端子が「S」または、テレビ側で自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき

お知らせ

- テレビや番組によっては、画面が一瞬乱れたり、画質が低下することがあります。このときは、「D端子出力解像度」(➜31)を「D1」に設定してください。

テレビ画面の横縦比を変更する

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「初期設定」を選び、決定を押す

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定を押す

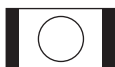
5 「TV アスペクト」を選び、決定を押す

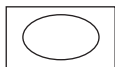
6 テレビタイプに合わせて項目を選び、決定を押す

4:3　　　:4:3 標準テレビに接続しているとき

4:3 の映像は、そのまま表示

16:9　　:ワイドテレビに接続しているとき

4:3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示

16:9 フル:ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4:3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、**[サブ メニュー]** を押して、「デジタル放送メニュー」の「アンテナレベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをおすすめします。

1 (スタート) **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 「放送設定」を選び、(決定)を押す

4 「放送設置」を選び、(決定)を押す

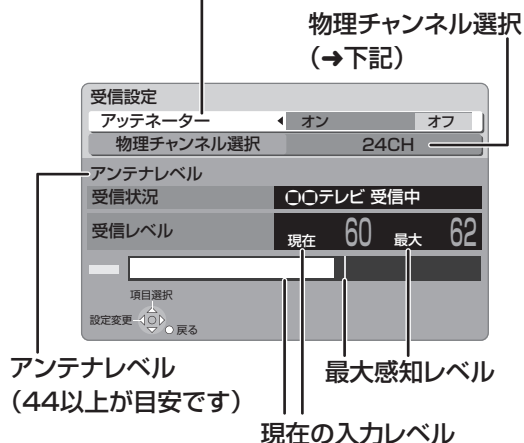
5 「受信設定」を選び、(決定)を押す

6 修正したい放送を選び、(決定)を押す

(➜ 右記または 35 ページへ)

地上デジタル

左記手順 1 〜 6 のあと

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており(13 CH 〜 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、**[決定]**を押し、**[1]**〜**[10]**で物理チャンネルを入力し、**[決定]**を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しください。
  ・アッテネーターを切り換える
  ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す
  状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

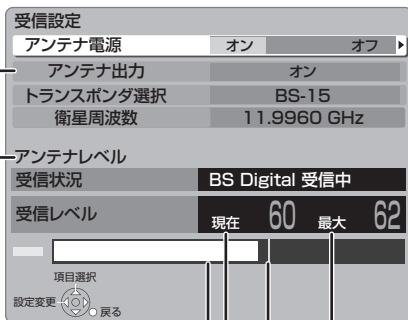
衛星

34 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 「アンテナ電源」を選び、「オン」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入(オン)」にしてください。

8 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力
- 通常は「オン」のまま使用してください。「オフ」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS·110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。

アンテナレベル
(50以上が目安です)

最大感知レベル

現在の入力レベル

☞「他の衛星受信中」の表示が出たとき
BS·110 度 CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変更しないでください。

受信チャンネルを修正する

1 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「放送設定」を選び、決定を押す

4 「放送設置」を選び、決定を押す

5 「チャンネル設定」を選び、決定を押す

6 修正したい放送を選び、決定を押す
(BS、CS1、CS2 の場合 ➜38 ページへ)

7 (地上デジタル・地上アナログのみ)
修正する方法を選び、決定を押す
(➜ 下記または 37 ページへ)

地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

上記手順 1 ～ 7 のあと

8 お住まいの地域を選び、決定を押す

9 受信帯域を選び、決定を押す

10 正しく設定されていることを確認したあと、戻るを押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 7 のあと

8 正しく設定されていることを確認したあと、戻るを押す

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po :「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)
- ●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH :テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「––––」の場合、チャンネル設定されていません。

左記手順 1 ～ 7 のあと

8 修正したい行(Po)を選び、決定を押す

9 表示チャンネル(CH)を修正し、戻るを押す

10 修正が終わったら、戻るを押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [**緑**] を押す
② 入れ換えをしたい行(Po)を選び、[**決定**] を押す
③ 入れ換え先の行(Po)を選び、[**決定**] を押す
④ 入れ換えが終わったら [**戻る**] を押す

地上アナログ オート

受信状況が変わったときに受信できる局を自動で探し、以前の設定をすべて置き換えます。

36 ページ手順 1 ～ 7 のあと

8 正しく設定されていることを確認したあと、戻るを押す

地上アナログ マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときや、映りの調整をしたいときなどに行います。

地上アナログチャンネル設定

Po	CH	表示	放送局名	ガイド
1	1	1	NHK 総合東京	80
2	14	14	MX テレビ	14
3	3	3	NHK教育東京	90
4	4	4	日本テレビ	4
5	16	16	放送大学	16

Po :「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)
- ●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、**[▼]** を押してください。

CH :新聞のテレビ欄などと同じチャンネルです。

表示 :テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。
「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。不要なチャンネルを「ーーーー」にしておけば、**[チャンネル ∧,∨]** での選局時に飛び越しますので便利です。

放送局名 :番組表に放送局名が表示されていない場合、修正が必要です。
- ●**[決定]**を押し、放送局コードを入力して設定することもできます。

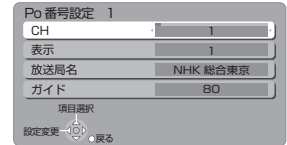
ガイド :G コード® 予約に必要な番号です。
「ーーーー」の場合は、「地上アナログ放送チャンネル一覧表」を参考に、設定してください。

36 ページ手順 1 ～ 7 のあと

8 修正したい行(Po)を選び、決定を押す

9 修正したい項目を選び、修正し、戻るを押す

10 修正が終わったら、戻るを押す

その他の設定

☞ 映りが悪いチャンネルの受信画像を微調整するには

① 修正したい行(Po)を選び、**[黄]**を3秒以上押す
② 画像が見やすくなるように調整し
(− 128 ～+ 127)、**[決定]** を押す
- ●微調整を元に戻すには、値を 0 に戻してください。

お知らせ

- ●地上アナログ放送のチャンネル一覧表・地上デジタル放送のチャンネル一覧表・Gガイド地域一覧表は、お手持ちのパソコンから以下のホームページでご覧いただけます。
  ① http://panasonic.jp/support/bd/manual/ を開く
  ② 「同意する」→「DMR-BWT1100/DMR-BWT2100」→「DMR-BWT1100/DMR-BWT2100(放送チャンネルなどの一覧表)」を選ぶ

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po :「1」~「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH :テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「一一一」の場合、チャンネル設定されていません。

36 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行(Po)を選び、決定を押す

8 表示チャンネル(CH)を修正し、戻るを押す

9 修正が終わったら、戻るを押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行(Po)を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行(Po)を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

地域設定を修正する

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「放送設定」を選び、決定を押す

4 「放送設置」を選び、決定を押す

5 「地域設定」を選び、決定を押す

6 「県域設定」を選び、お住まいの都道府県を選ぶ

- 「地域設定削除」を選ぶと、お買い上げ時の状態に戻ります。

7 「郵便番号」を選び、決定を押す

8 1～10（ふた内部）でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を押す

9 「はい」を選び、決定を押す

その他の設定

リモコン設定をする

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 スタート **を押す**

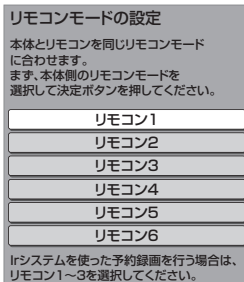
2 **「その他の機能へ」を選び、決定を押す**

3 **「初期設定」を選び、決定を押す**

4 **「設置」を選び、決定を押す**

本機側のモードを設定する

5 **「リモコンモード」を選び、決定を押す**

6 **「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、決定を押す**

リモコン側のモードを設定する

7 1 ～ 6 (ふた内部)**のいずれかを押しながら、決定を 3 秒以上押したままにする**

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコンモードの設定

本体側のリモコンモード：リモコン○

次に、リモコン側の設定を行います。

1. リモコンの数字ボタン「○」と決定ボタンを同時に3秒間押し続けてください。リモコン側の設定が完了します。

2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを押し続けてください。（約3秒）

8 **リモコンを本体に向けて、決定を3秒以上押す**

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

9 決定**を押す**

- リモコンモードの設定を終了します。

別売のシンプルリモコン (DY-RM10) をご使用の場合は、シンプルリモコンのモードの設定を行ってください。詳しくは、シンプルリモコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- セットトップボックスなどのIrシステム(➜9)を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- リモコン下部に"IR6"の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

本機のリモコンでテレビを操作する

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。

戻るを押しながら、[1] ～ [10] (ふた内部)を使って、2 けたのメーカー番号(➜ 下記)を入力する

例)01 の場合…[10] → [1] 10 の場合…[1] → [10]
11 の場合…[1] → [1] 12 の場合…[1] → [2]

- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- 番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01, 10, 22, 23, 24
アイワ	18
NEC	06, 15
三洋	07, 16
シャープ	02, 11, 21
ソニー	03, 17
東芝	04
パイオニア	13
ビクター	14
日立	05, 20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19
三菱	08, 12

お知らせ

- 当社製テレビの場合、「24」に設定すると、テレビ操作部の [**入力切換**] で、入力に加え、テレビの放送も切り換えることができる場合があります。切り換えることができないときは「24」以外に設定してください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- [1]～[12] を使ってテレビのチャンネル変更はできません。テレビ操作部の [**チャンネル ∧,∨**] をお使いください。

B-CASカードのテストをする

1 スタート を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「放送設置」を選び、決定 を押す

5 「B-CASカードテスト」を選び、決定 を押す

- NGの場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度手順1から行ってください。

時刻を合わせる

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時計合わせの必要はありません。

地上アナログ放送のみを受信している場合など、下記の表示が出ている場合は、必ず時刻を合わせてください。

0:00

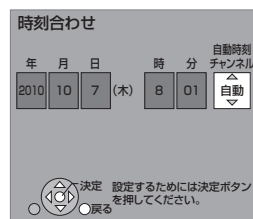
1 スタート を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「設置」を選び、決定 を押す

5 「時刻合わせ」を選び、決定 を押す

6 各項目を選び、設定する

7 決定 を押す

- 時計が動き始めます。

お知らせ

- 「自動時刻チャンネル」が「自動」の場合、毎日昼の12時に本機が電源「切」状態で、NHK教育テレビの時報が放送されると、それに合わせて2分未満の誤差を自動的に修正します。
  時報が放送されなかった場合などは、働きません。

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器と接続する
スカパー! HD 対応チューナーと接続する

お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定

1 スタート **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「初期設定」を選び、決定を押す

4 「ネットワーク通信設定」を選び、決定を押す

5 「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」を選び、決定を押す

6 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、決定を押す

7 「入」を選び、決定を押す

- 「クイックスタート」(➜23)が「入」に固定され、待機時の消費電力が増えます。
- DMR-BWT2100 無線接続で無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

8 「アクセス許可方法」を選び、決定を押す

9 「手動」または「自動」を選び、決定を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
  (「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで[決定]を押してください。)
- 「手動」の場合(➜ 右記手順 10 へ)

左記手順 9 で「手動」を選んだ場合

10 「機器一覧」を選び、決定を押す

11 アクセスを許可したい機器の機器名またはMAC アドレスを選び、決定を押す

12 「アクセス許可」を選び、決定を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには(「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

① 手順 11 で、取り消したい機器の機器名またはMAC アドレスを選び、[決定] を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す

- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順9で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

① 手順5のあと「本機の名称」を選び、[決定]を押す
② 項目を選び、[決定] を押す
- 一覧から選んで変更：あらかじめ登録されている名前から選びます。
- 文字入力して変更　：文字入力画面から入力します。(➜操作編121)

☞ お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは

手順 7 で「切」を選ぶ

- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- スカパー! HD 対応チューナーから録画または予約録画をする場合、チューナーをアクセス許可の状態にしてください。
  チューナー側の設定は、チューナーの取扱説明書をご覧になって行ってください。

その他の設定

プリンターと接続する

ネットワークプリンターの接続設定

プリンターはネット TV 端末仕様(印刷機能)に対応したものをご使用ください。

1 スタート を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

5 「ネットワークプリンターの接続設定」を選び、決定 を押す

6 「プリンター検索」が選ばれている状態で、決定 を押す

7 「する」を選び、決定 を押す

- プリンター検索が正常に終了した場合、プリンター名を表示します。

携帯電話、パソコンと接続する

ブロードバンドレシーバー設定

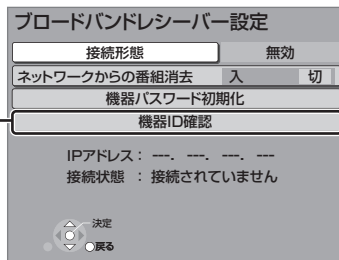
ブロードバンドレシーバー機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、ホームページ(➜15)をご覧ください。

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「初期設定」を選び、決定を押す

4 「ネットワーク通信設定」を選び、決定を押す

5 「ブロードバンドレシーバー設定」を選び、決定を押す

機器 ID：
ブロードバンドレシーバー機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

6 「接続形態」を選び、決定を押す

7 「インターネット」または「家庭内ネット」を選び、決定を押す

インターネット：本機を宅外 / 宅内の機器から操作する場合

家庭内ネット：本機を宅内の機器からのみ操作する場合

8 「はい」を選び、決定を押す

「接続されていません」が表示されているとき

ネットワークの接続(➜16、17)、「IPアドレス / DNS 設定」(➜ **操作編 138**)を確認してください。

機器パスワードを初期化するには

① 手順5のあと「機器パスワード初期化」を選び、[**決定**] を押す

② 「する」を選び、[**決定**] を押す

ネットワーク連携する機器の設定をする(つづき)

ドアホン・センサーカメラと接続する

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホンやセンサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。

手順 5 から 9 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 [スタート] **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「初期設定」を選び、[決定] を押す

4 「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す

5 「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、[決定] を押す

6 「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、[決定] を押す

7 「入」を選び、[決定] を押す

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を「入」にすると、HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を録画するための領域が確保されます。
  一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」(➜ 操作編 133)をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、[戻る] を押してください。

8 「〈新規登録〉」を選び、[決定] を押す

9 「する」を選び、[決定] を押す

- 登録が正しく完了したら "登録が完了しました。" と表示され、本体表示窓に "[ドアホン表示]" が点灯します。
- ドアホンやセンサーカメラは最大 5 台まで登録できます。

「ドアホン・センサーカメラ接続」からの録画を解除するには

手順 7 で「切」を選ぶ

- 手順 5 のあと「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

登録機器の詳細情報を確認するには

手順 5 のあと「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[決定] を押す

- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。
  詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。

機器の登録を削除するには

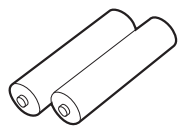
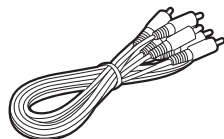
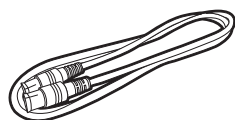
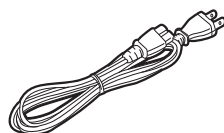
① 手順 5 のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、[決定] を押す
② 「登録削除」を選び、[決定] を押す
③ 「する」を選び、[決定] を押す

機器の登録ができない場合は

- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約 3 分待って、操作を行ってください。(登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 9 を行ってください)
- ネットワークの接続や設定が正しく行われていても登録ができない場合は、DIGA(ディーガ)ご相談窓口(➜ 操作編 172)までお問い合わせください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号:5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD、DTS-HD Master Audio | Essential 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- i.LINK と i.LINK ロゴ " i " は商標です。
- スカパー! および「スカパー! HD 録画 ™」ロゴは、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、Blu-ray 3D™、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™ 及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

付属品を確認する

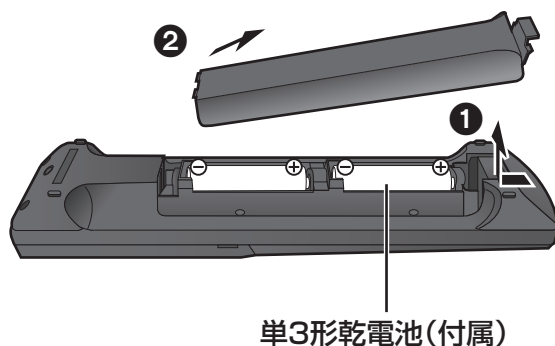
リモコン(1 個)
N2QAYB000554

リモコン用乾電池(2 本)
単 3 形乾電池

映像・音声コード(1 本)
K2KA2BA00003

75Ω 同軸ケーブル(1 本)
K2KZ2BA00005

電源コード(1 本)
K2CA2CA00024

B-CAS カード(1 枚)
●本カードの紛失時は
(➜19)

お知らせ

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2010 年 6 月現在のものです。
  変更されることがあります。

リモコンの準備

電池を入れてください。

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部(**➜ 操作編 12**)に向けて、まっすぐ操作してください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

CLUB Panasonic

携帯電話からもお買い求めいただけます。

http://p-mp.jp/cpm

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571 − 8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT2W35-2
F0710SR2110 (18500 Ⓕ)